

# 結



創造喜多方

## さいとうじんいち 齋藤仁一の喜多方市議会報告Ⅳ-7

### コロナ禍の中、適正規模は少人数学級

私は、12月議会定例会（11月26日）12月10日）で、「小中学校適正規模適正配置について」一般質問をしました。

#### 昨年度に出す予定の実施計画案は

私のこの質問に対して、教育部長は「実施計画案については、議会特別委員会審査報告の内容も検討し、現在部内においてたたき台が概ねまとまった段階である。今後庁内調整を経て、教育委員会、総合教育会議、小中学校適正規模適正配置審議会に実施計画案を諮る考えである」と答弁しました。

私は「実施計画案は、2019年度の作成を目指すとしていたけれども、遅れた理由は何か」と再質問しました。

教育部長は「実施計画案の検討では、審議会や特別委員会審査報告にあるように、地域への配慮、子どもの通学距離と時間を精査して検討すべきとの意見に対する整理が難しかったので、時間を要した」と答弁しました。

私は「当初の計画より遅れているのであれば、スケジュールが公表されているのであるから市民への周知を図るべきであった」と指摘をしました。

#### 小中学校適正規模適正配置審議会では

小中学校適正規模適正配置審議会が、昨年9月までに6回開催され、第6回の審議会で適正規模適正配置基本方針案に対する付帯意見、一つ目は「実施計画案の作成にあたっては、地域との関わりに関して配慮するとともに、児童生徒の学校生活がよりよいものとなるように努めてください」と二つ目は「実施計画の策定

にあたっては、地域住民への説明を十分に行うように努めてください」を付けて了承されました。その後の審議会開催は、来年1月から2月の予定です

#### 総合教育会議・教育委員会では

総合教育会議は、昨年度4回開催された最後の会議で小中学校適正規模適正配置の基本方針案が了承されています。今年度は、11月に第1回が開催され、総合計画における指標の実績値及び行政サービスに対する満足度・重要度アンケート調査（教育部）についてと県立高等学校改革について協議がなされています。



雪の山都小学校

#### 2020年度市内小学校児童数

- 第一小（411）第二小（338）松山小（165）上三宮小（26）関柴小（102）第三小（94）熊倉小（72）豊川小（121）慶徳小（62）熱塩小（45）加納小（57）堂島小（60）塩川小（362）姥堂小（47）駒形小（72）山都小（88）高郷小（59）

一方、教育委員会会議では、昨年度3月定例会において、小中学校適正規模適正配置基本方針に基づき実施計画案を検討していることが報告されています。また、今年5月の教育委員会定例会において実施計画案の進捗についての質問が出席され、鋭意検討中であることが議事録に記載されています。

#### コロナ禍での要件を検討しているのか

私は「コロナ禍の中での1学級の人数を考える必要が出てきた。新たな要件が一つ加わったと認識しているがどうか」と質問しました。

教育部長は「コロナ禍の中での小中学校適正規模適正配置を考えている。ICT教育（児童生徒にタブレット端末を一人一台、他にプロジェクターとスクリーンを整備する）という視点でも考える必要があるのでは、それらを吟味してたたき台を作成した」と答弁しました。

私は「地域にある学校という視点は大事である。パブリックコメントでもそのような意見が多くあったが、どのように考えているのか」と質問しました。

教育部長は「現状を基本とする考えであるが、子どもが激減している中で、5年10年先ではなく、もっと先を見据えた実施計画を考えている」と答弁しました。

また、私は「コロナ禍の中で市長は、小中学校適正規模適正配置をどう進める考えなのか」と質問しました。

市長は、「学校も一つのコミュニティである。将来の地域づくりをどうするのかそれを踏まえた子どもの学びのための適正規模適正配置を考えていく。コロナ禍の中、国の動向も注視しながら将来に憂いを残さない適正規模適正配置にしたいと考えている」と答弁しました。



# 有害獣、集落診断と電気柵補助の強化策は 「パンが聞きたい」12月議会一般質問



(12月議会一般質問に登壇)

## 有害獣捕獲と対策の強化は

**問** 今年度の有害獣捕獲頭数と被害状況はどうなっているのか。また、昨年比どうなっているのか。( )内は昨年比

**市民部長** 10月末現在、ツキノワグマ73頭(41頭増)、被害面積は203㍎(37㍎増)、被害額29万円(約8万円減)、イノシシ66頭(53頭増)、被害面積652㍎(495㍎増)、被害額約513万円(約400万円増)、ニホンザル33頭(7頭増)、被害面積10㍎(約8㍎増)となっている。

**問** 今年度の集落診断回数及び電気柵貸出しと補助の実態は、昨年比も含めてどうなっているのか。( )内は昨年比

**市民部長** 集落診断は、9行政区(3行政区減)、電気柵貸出しは、17件(1件減)延長は6.8km(2.1km増)、電気柵補助

は43件(39件増)金額は、495万円(331万円増)である。

**問** このような実態を受け今年度の対策として、集落診断の地域ごとの取組み強化策、電気柵貸出し及び補助の充実に取り組むべきと考えるがどうか。

**市民部長** 市が有害獣の出没や被害に関するデータを活用し、被害の聞き取りを契機として、集落環境診断の実施に結びつけ、住民と共に集落内の点検作業を行い、問題を共有することで、集落による刈り払いや未利用果樹伐採に繋げるなど集落ぐるみの対策を推進していく。また、電気柵の購入補助制度や貸出制度を組み合わせた電気柵導入支援の充実を図り、防除対策を推進していく。

## 山都公民館は3箇年で建設する

**問** 山都公民館建設については、どうなっているのか。

**教育部長** 3月に策定された喜多方市公共施設等総合管理計画の個別施設計画に基づき、地域住民の身近な生涯学習活動の場を確保するため、現在整備の方向性を検討している。

**問** 山都公民館建設は、合併当時、新市建設計画の一つである山都開発センターの大規模改修の計画であったが、3階の建物でエレベーターがないこと、耐震性に問題があるなどによって、大規模改修ではなく、新たな建物を建設する内容で変更された。当然、その経緯からも、優先度も有効性も高いと考えている。整備

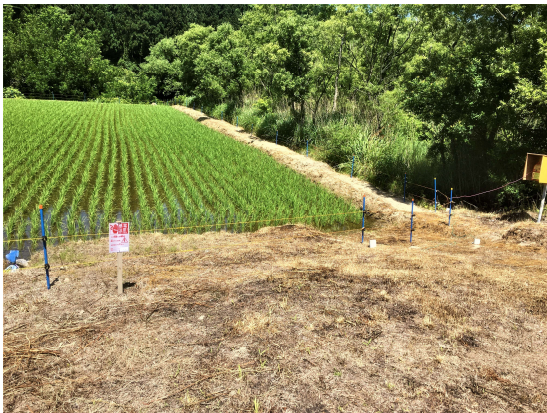
の方向性で検討ではなく、建設計画の年度を示すべきでないか。

**総務部長** この件については、中期財政計画に位置づけて、場所、規模、手法等を検討している。また、3箇年の事業として、1年目は住民意向調査と計画策定2年目は実施設計、3年目に建設の方向で進めている。

## 災害情報連携システム再構築事業 総事業費は9億6511万円

喜多方・塩川地区のV・L・O・Wシステムが、FM東京などの事業撤退によって変更を余儀なくされ、コミュニケーションFM放送及びデジタル防災行政無線へ移行することになりました。さらに、熱塩加納・山都・高郷地区のアナログ防災行政無線が2022年11月末で使用期限となるシステムをデジタル防災行政無線に更新する事業です。

**問** 問題は、システム変更による使用できないラジオや代替策移行への賠償をどうするのか、いつ決着するのか不明です。また、新たなシステムでの携帯端末の利用については、今後検討するとの執行部の答弁ですが、様々な方法で対応できるようにしてほしいと提言しました。



田んぼの電気柵 6月21日撮影

## あとがき

◆反ナチ運動告白教会の指導者マルティン・ニーメラー牧師の言葉に由来する詩「ナチが共産主義者を襲ったとき、自分はやや不安になった。けれども結局自分は共産主義者でなかった。何もしなかった。それからナチは社会主義者を攻撃した。自分の不安はやや増大した。けれども自分は依然として社会主義者ではなかった。そこでやはり何もなかった。それから学校が、新聞が、ユダヤ人が、というふうにならんと攻撃の手が加わり、そのたびに自分の不安は増したが、なおも何事も行わなかった。さてそれからナチは教会を攻撃した。そうして自分はまだに教会の人間であった。そこで自分は何かをした。しかしそのときにはすでに手遅れであった。」第二次世界大戦のドイツの出来事です。他人事ではなく、あの時の深い反省の上に私たちの国も歩んでいます。

◆2021年、平和・共生そして地域力の再生を目指して頑張りますので、ご指導ご支援よろしくお願ひします。

## 結(ゆい)Ⅷ-7

斎藤仁一の喜多方市議会報告

- ・発行 2021年新春号
- ・発行責任者 斎藤 仁一
- ・住所 (〒969-4105) 山都町三津合字河原田 4848
- ・Tel&Fax 0241 (38) 2788
- ・Facebook Jinichi.saito.10
- ・E-mail ご意見・ご要望を [rss02574@nifty.com](mailto:rss02574@nifty.com)